

1 安全安心委員会 ～すべての災難から身を守る地域づくり～

【担当理事】

(避けられない自然災害への対処、詐欺・交通事故・火災などの災難から身を守る生活スタイルを訴求)

【坂井・藤井・植原・奥田・長本・和田】

目標期間			事業計画への展開	計画 番号	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				見直し後予算
短期	中期	長期				第1四半期（4～6月）	第2四半期（7～9月）	第3四半期（10～12月）	第4四半期（1～3月）	@ = 千円
(1) 備災・防災・減災につながる啓発活動と訓練（みー1・2・4、すー2・3）										
	○		備災・防災・減災につながる広報紙を定期的に発行	①	情報委員会との連携を保ち広報紙「きずな」へ継続的な記事提供による啓発活動	広報紙「きずな」への継続的な記事提供による備災・防災・減災・防犯に関する啓発活動	広報紙・自治協議会ホームページ等の活用による継続的な啓発活動			
	○		地区内危険箇所・家庭内危険箇所など環境整備の呼び掛け、働き掛け	②	収集情報に基づいた既存情報等の整備、環境委員会との連携による環境整備	継続的な資料、情報の収集・蓄積及び整備。あらゆる機会をとらえての呼び掛けと関係行政機関への働き掛け	活動状況の振り返り・評価及び次年度に向けた検討			
	○		定期的な研修・講習・訓練の実施	③	定期的な研修・講習・訓練の実施を継続、自治会ブロック別訓練の強化を図る	防災講習会、防災訓練等は新型コロナウイルス感染防止のため活動休止	過年度の実施状況を踏まえた次年度以降に向けた検討			
○			河川・堤防清掃の継続(佐保川、菰川)	④	環境委員会との連携による実施の継続	佐保川・菰川クリーンキャンペーンは新型コロナウイルス感染防止のため活動中止				
(2) 全避難所運営体制づくり（みー2・3）										
○			避難所の周知、徹底	①	情報委員会との連携を保ち広報紙「きずな」への掲載、防災ハンドブック・市ホームページ活用の呼び掛け	広報紙を活用した呼び掛けの継続。防災防犯講習会、訓練の実施時での周知・徹底		取り組み内容の検討・整理及び次年度に向けた課題等の抽出		
○			地区内全避難所の運営体制づくり。防災訓練、防犯講座の実施	②	避難所の現況把握と既存の避難所運営マニュアルを参考にした課題の抽出、整備・改善に向け関係機関への要望、折衝	訓練・講座等は新型コロナウイルス感染防止のため活動休止、各自主防(自治会)への災害時連絡先の名簿提出依頼など整備・改善				
	○		避難所の環境整備	③						
		○	避難所内に生活用水を確保	④	井戸の試掘調査に関して関連行政機関への要望、折衝を継続	井戸の掘削に向けた関連行政機関等への要望、折衝			50(井戸積立金)	
○			防災倉庫等の定期点検、維持管理	⑤	点検簿・管理簿の活用による維持管理、備品等の補充、拡充を継続	防災倉庫の備品等の点検・管理(棚卸し)	防災倉庫備品等の点検による補充、拡充		150(資機材購入費)	
(3) 自治会毎の臨時避難集合場所の確定と周知徹底（みー2）										
	○		各自治会等へ一時集合(避難)場所の確保を要請	①	前年度に把握した一時集合場所の状況を踏まえた確保の要請、避難訓練実施への働き掛け	自治会長会議等の機会毎に一時集合場所の確保・見直し(変更)の周知・徹底		取り組み結果の分析・検討及び次年度への課題抽出、有効施策の検討	35(訓練実施助成金)	
	○		一時集合(避難)場所を活用した避難訓練	②		訓練は新型コロナウイルス感染防止のため活動休止				
(4) 医療機関とスーパーマーケット等との連携、協定締結（みー3、すー6・9）										
		○	医療機関等との医療援助に関しての協定締結	①	自治協議会への参入の呼び掛け等、他の委員会との連携による取り組みを模索、関係機関の状況把握及び情報の収集・蓄積	関係機関の防災等への取り組み状況などの情報収集、蓄積		収集情報の整理、次年度への的確な引き継ぎ		
		○	スーパーマーケット等との物資供給に関しての協定締結	②						
(5) メーリングシステムなど災害情報発信の仕組みづくり（みー1・2・5）										
	○		災害情報発信の仕組み、体制づくり	①	自治体などを含めた情報発信・伝達の仕組み、体制の見直しなどによる課題の抽出、及び住民間のつながり意識の醸成	OMS利用者の拡大及びOMSによる情報発信、伝達の確立	自治協議会ホームページの防災防犯協議会サイトによる情報発信の拡充			
(6) 防災グッズの販売促進（みー2）										
	○		防災グッズの販売促進	①	自治関連のイベント・講習会・訓練時における防災グッズの周知、企画・予算委員会との連携による販売等の可能性を模索	防災グッズに関する情報、資料の収集・蓄積及びそれら情報、資料を防災訓練等の機会に参加者などに提供				
(7) 避難行動要支援者の個別避難プラン作成と見守り体制の確立（みー2・4、すー6）										
	○		自力避難が困難な避難行動要支援者別の避難プランを作成	①	支援要望者の確認及び状況把握、理解を深める研修・講習会などを支え合い・人権教育推進委員会との連携による開催	研修・講習会は新型コロナウイルス感染防止のため活動休止、避難行動要支援者等に係る情報・状況把握	「おおみや安心システム」構築への協力・援助		100(協力・援助金)	
		○	障がい者理解を深める公開講座の開設、認知症サポーターの育成	②						
(8) 防災・防犯家族会議の推奨（みー2・4）										
	○		防災・防犯家族会議の推進	①	はぐくみ委員会との連携を図り子供たちとその保護者を対象に防災・防犯に関する知識、情報を提供		はぐくみ委員会との連携で「家族でおでかけ・防災防犯メモ」作成・配布による知識、情報の提供		30(作成費)	

1 安全安心委員会 ～すべての災難から身を守る地域づくり～

(避けられない自然災害への対処、詐欺・交通事故・火災などの災難から身を守る生活スタイルを訴求)

【担当理事】

【坂井・藤井・植原・奥田・長本・和田】

目標期間			事業計画への展開	計画 番号	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				見直し後予算 @ = 千円	
短期	中期	長期				第1四半期（4～6月）	第2四半期（7～9月）	第3四半期（10～12月）	第4四半期（1～3月）		
(9) 防災訓練の受託運営事業の実施（みー2）											
	○		防災訓練未実施の団体等(自治会未加入のマンションを含む)からの受託訓練	①	受託訓練の要望状況を把握	新型コロナウイルス感染防止のため活動休止			次年度に向けた施策等の検討		
	○		大宮地区防災防士会の結成、定期的な研修会等の開催	②	防災士養成講座参加・受験への呼び掛け、働き掛けの継続、地区内防災士の活動策を模索	防災士養成講座参加・受験への呼び掛け	研修会等は新型コロナウイルス感染防止のため休止、防災士の少ないブロックに重点を置き養成講座への参加を呼び掛け		防災士の活動策を模索	35(育成費)	
(10) 声かけ・鍵かけ運動(絆)の推進徹底（みー3・4）											
○			声かけ、鍵かけ運動（絆）の奨励	①	あいさつ運動の輪を拡大・充実、自治会などを軸にした取り組みの模索	声かけ・鍵かけ運動に関する情報等の収集		収集した情報等の分析による次年度に向けた施策などを検討			
○			安全パトロール等の継続	②	パトロール等の継続実施、より効果的な施策などの模索による実施、はぐくみ委員会との連携	自転車での安全パトロールによる小学校児童の下校時の見守りの実施、諸団体等へ安全パトロールへの参加要請				50(パトロール)	
(11) 防犯カメラなど防犯設備の充実した街づくり（みー3）											
		○	防犯カメラ・防犯灯の増設活動による死角のない街づくり	①	現状等の情報収集を継続、及び情報の蓄積による関係行政機関等への要請、環境委員会との連携	計画(1)-②の地区内危険箇所を含めた情報収集・蓄積の継続、関係行政機関等への要請(市が地区内の三ヶ所に防犯カメラを設置することが確定)					
凡例＝短期；1～2年、中期；2～4年、長期；5年以降										予算合計	450
										その他会議費・事務消耗品関係費(防災防犯協議会)	80
										総合計	530

2	自治・環境委員会（自治連合会） ～地域活性化と居住環境の維持・改善向上～										【担当理事：吉岡・鳶寄・長本・藤井】			
目標期間			事業計画への展開	計画 番号	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				見直し後予算 @ = 千円				
短期	中期	長期				第1四半期（4～6月）	第2四半期（7～9月）	第3四半期（10～12月）	第4四半期（1～3月）					
(1) 西九条佐保線整備、大宮通り新ホテル・交流拠点事業への対処（みー1、すー1・3）														
		○	西九条佐保線への住環境維持の観点からの的確対応	①	地権者の不安解消と要望事項の進捗協議	地権者への説明による不安解消（8／23）		要望事項に対する進捗協議の続行		0				
○			新ホテル・交流拠点事業への対処	②	事業者との地域連携組織の運営	「ｸｵﾅﾐﾈｼﾞﾒﾝﾄ協議会＊」活用による観光公害の未然防止及び地域活性化策の検討実施				0				
(2) 遊びの空間確保へ街区公園等の整備充実（みー1・3、こー1）														
	○		宮跡庭園にトイレをつくる☒	①	男女別の水洗式トイレ完成	過年度に県レベルへ要望していた事案が実現した					0			
		○	地区内の街区公園に水道を施設しトイレをつくる	②	優先順位を決め水道設置要望	大宮町四丁目街区公園に完成		優先順位判断し、必要により申請		5				
		○	西九条佐保線余剰地や空き家跡等視野に小公園の増設	③	個別案件の洗い出し、可能性調査	利活用関係法令の調査研究		個別案件の洗い出し、可能性調査		0				
(3) 活動拠点の整備確保と既存施設の統合等による有効活用（みー1、すー3・4、こー1・2）														
○			三笠公民館に事務所機能を備える	①	事務所移転開設、事務機能強化	6月から事務所開設、事務用機材の配置		活動拠点として事務機能の充実		(300～1,700)				
		○	大宮小学校舎と大宮幼稚園舎の一体化を促す	②	幼保一元化との絡みで推移確認	今後の空き教室の推移や幼保一元化の動きをを見極める必要があり、当面は様子見。				0				
		○	新大宮交番所を大宮小学校内に誘致する	③	警察等関係先へ可能性打診	警察等関係先へ可能性打診（近鉄線地下化実現可否との絡みもあり、将来課題とする）				0				
		○	100年会館の公園を芝生公園にして可視化する	④	手法など取り組みの可能性検討	市総合財団及び市公園緑地課へ可能性を含めて打診し、手法を検討する。				0				
(4) 建設予定親水公園の利活用、堤防道路の歩車道分離による安全化（すー1・2・4）														
○			親水公園の設置と維持管理	①	設置工事と日常管理の地元体制検討	日常管理の具体策検討、県・市と細部協議		日常管理体制の確立、現地引継ぎ		0				
	○		親水公園でのイベントなど利活用	②	利活用策の協議（対；県・市）	県及び市と利活用策の非公式協議		地域事業との整合による利活用策の協議		0				
	○		歩車道分離による安全化	③	親水公園設置工事の進捗に合わせ協議			要望事項の追跡	歩車道分離実現化へ関係先協議		0			
(5) 大宮クリーンアップ作戦（清掃活動、ペットマナーの向上運動ほかソフト面）の実施（みー3、すー3）														
○			地区単位、ブロック単位、自治会単位等によるクリーンアップ活動	①	各層によるクリーンアップ活動提案	自治会単位での活動拡大と継続的実施の依頼					20			
	○		犬などの散歩のルールをつくり、知ってもらう、独自のマナーづくり	②	広報紙、チラシ等によるキャンペーン			広報紙、チラシ等によるキャンペーンの実施検討		0				
	○		ペットを連れて集えるイベントを企画、マナーや避難時の対処方法周知	③	イベントとマナーづくりの検討			イベントとマナーづくりの検討		0				
○			ムクドリやカラスの糞の清掃	④	道路管理者等へ抜本的対策の提案	年末の試験的実施の結果、暫定的に解消		襲来時期を踏まえ対策検討実施の要請		0				
		○	清掃等を奈良市より業務受託し有償で地域で実施	⑤	市と可能性を協議し長期的視野で臨む			市と可能性を協議し長期的視野で臨む		0				
(6) まちの安全化への取り組み（バリアフリー化、ゾーン30拡大などハード面）強化（みー3、すー4）														
	○		歩道やガードレールの点検、段差の解消、点字ブロックの設置	①	改善箇所のリストアップ					調査隊編成と現地調査		50		
		○	標識や看板の統一と削減、ブロック塀の全面的生垣化	②	標識・看板類の取り組み方検討					調査隊編成と現地調査（上記と同時実施）				
○			横断歩道の設置とスクランブル化への働きかけ	③	要望追跡、実施可否確認	イズミヤ前に横断歩道設置、供用開始		要望事項の追跡、実現性確認						
	○		セーフティゾーン（30キロ制限の「ゾーン30」）の拡大	④	設置箇所確認し申請	設置個所の地域内協議、警察署への打診		状況判断し申請手続き		5				
		○	損傷箇所や危険箇所の画像を投稿し対処（参考 京都市 みっけ隊）	⑤	市へ受け皿、受け入れ態勢づくり要望	市が道路損傷等通報システムを7／1から始動（サイトにアクセス、スマホ等で投稿）				0				
(7) 地域活性化への取り組み（自治連合会機能の発揮）														
○			大宮地区自治協議会運営への、主導的役割の発揮	①	理事会、事務局でのイニシアティブ向上	事務所開設、理事選出、定時総会対応		事務所機能充実、理事会運営		(1,680)				
○			意志疎通の活発化と情報共有による自治会活動の円滑実施	②	各種会議の開催と研修の実施	総会、自治会長会議、役員会、研修会		自治会長会議、役員会、新春の集い		(170+30)				
	○		未加入自治会員へのアプローチと情報共有、一体感の醸成	③	広報紙等の配布と掲示板などの充実	市民だより等配布受託、配布体制確立		掲示板など広報媒体の調査と配置見直し		(220)				
○			活動組織（防災防犯活動・高齢者福祉活動）等への支援と取り組み	④	自治会レベルでの活動の活発化	安全安心委員会への支援。支え合い委員会（民生児童委員との見守り連携）との連動				(200)				
○			地域とともにある学校づくり（地域で決める予算事業）の推進	⑤	学校運営協議会による学校園との連携強化	運協	運協	運協	運協、卒業園式	0				
凡例＝短期；1～2年、中期；2～4年、長期；5年以降											2020. 8. 15		80	

3 支え合い委員会 ～高齢者への地域福祉の増進～

(支え手・受け手という関係を超え、高齢者同士が丸ごとつながり、「孤立ゼロ」地域をめざす)

【艸香・浅川・岡田・岡野・谷口・中岡】

目標期間			事業計画への展開	計画	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				予算	
短期	中期	長期				第1四半期（4～6月）	第2四半期（7～9月）	第3四半期（10～12月）	第4四半期（1～3月）	@＝千円	
(1) 見守り・ふれあい活動、サロン活動などへの支援（すー5・7）											
○			各団体の個々の高齢者福祉活動を尊重し、お互いに支援し合う体制を作る	①		体育大会（万青） 中止		大宮小学校除草作業（万青） 漢国神社年末清掃（万青）	親睦サロン（万青）	100	
						独居高齢者サロン（民児協）中止	独居高齢者サロン（民児協）中止	独居高齢者サロン（民児協）中止	独居高齢者サロン（民児協）		
						おおみやカフェ（社協）中止 歌声サロン in 三笠年12回(社協)中止	おおみやカフェ（社協）中止	おおみやカフェ（社協）中止 歌声サロン in 三笠（社協）	おおみやカフェ（社協）中止 歌声サロン in 三笠（社協）		
○			現在行っているサロン活動を充実させる	②	変化する現状に合わせたサロン活動を展開していく	お花見会 中止	大宮まつり 中止	秋の健康ウォーク			
○			自治会や万年青年クラブに未加入の高齢者に広報し、サロン参加者増を目指す	③	情報委員会と連携する	きずなにサロンの報告を掲載					
	○		自治会、マンション単位の顔の見える身近な関係のふれあい活動を支援し、高齢者同士が支え合える活動を展開する	④	広報により活動の広がりを図る			理事の属する自治会・マンションの活動を聞き取り調査をする。			
(2) ニーズに応える各種ワークショップ・講座の開催（すー6・7）											
			人生100年、健康寿命を伸ばし高齢者が自立していく支援活動を展開する								
○			・体験型のワークショップを開催する	①	ニーズに合わせた様々なテーマの講座を開催していく	健康講座を開催する。中止					
	○		・フレイル（虚弱）予防の活動を展開する	②	高齢者の健康、自立が維持できる仕組みをつくる	ポッチャ競技を定期的に開催することを検討する。中止					
		○	・フレイルサポーターを養成する	③		ポッチャ競技の指導的高齢者を育成する。中止					
(3) 空き家、集会室他 場所の確保提供（すー5・9）											
	○		既存の企業・商店・飲食店との協働による機会・場所づくり	①	実際に使用する可能性を探る	県民共済の条件を調査する。		利用方法を検討する。			
	○		空き家の利活用の方法について、行政と連携する	②		お花見にコンベンションセンターを利用する。中止					
(4) 大宮地区内医療機関・介護機関及び行政との連携と協働（すー6・9）											
	○		大宮地区内医療機関・介護機関との連携と協働を図る ・見守り・ふれあい、サロン活動やワークショップ・講座の開催への協力 ・地域のイベントでの協力	①	実際の連携の可能性を探る	おしゃれお出かけサロンで健康チェック開催 健康講座・サロン活動などで包括支援センターと連携する 地域の医療経験者に地域イベントへの協力を得る				60	
(5) 循環バスの運行（exミ・ナールとの連携、スクールバスとのシェア）（すー1・5）											
		○	おおみや版 ぐるっとバスの運行	①		ニーズを確認する					
		○	循環バス（運輸業者との協働、ならびに医療機関からの資金拠出）	②		高齢者の移動手段の法的施策を確認する					
	○		地域行事への送迎の検討	③	可能ならば、活用方法を検討する	法的な適合を確認する					
(6) 高齢者同士の、暮らしと生きがいを支える合う集団づくり（すー7、こー5）											
	○		高齢者、生きがいづくり。地域事業を委託し、現金収入をえる								
			・(1),(2),(3)の取り組みを通して、高齢者同士の支え合いを図る								
			・例えば、高齢者農園で健康と生きがいづくりの機会をつくる	①	使用方法を検討する	ふれあい農園でのコミュニケーションの広がりを図る。		フリーマーケットを開催する。延期			
			・放課後子ども教室等に参画する	②							
			・コロナ禍の中で高齢者同士で支え合う仕組みをつくる	③				励ましのメッセージの発行		20	
(7) 地域包括ケアシステム・認知症ケアへの取り組み（すー6）											
	○		行政と連携して取り組む ・地域包括ケアシステムの大宮版を目指す	①	行政の方針が出た段階で、地域との役割分担を検討する						
凡例＝短期：1～2年、中期：2～4年、長期：5年以降										予算合計	180

(子どもたちの「逞しく生き抜く資質向上」を狙いとする、選ばれる学校園の創造)

【今西・金岡・福村・上垣内・大西校長・上野園長】

凡例＝短期；1～2年、中期；2～4年、長期；5年以降

5-2 はぐくみ委員会 ～子ども安全と子育て応援～

(子どもを産み育てたい地域、子どもたちが安心して勉強・運動のできる環境づくり)

【今西・金岡・福村・上垣内・大西校長・上野園長】

目標期間			事業計画への展開	計画	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				予算 @ = 千円		
短期	中期	長期				第1四半期（4～6月）	第2四半期（7～9月）	第3四半期（10～12月）	第4四半期（1～3月）			
(1) おはようみまもり・おかえりみまもり（毎日どこかで誰かが子ども見守り）（こー1）												
			主体の幅を広げ全体をカバーすると共に継続性のある見守り活動の構築									
○			意識向上（誰もが自らの課題と考えられる）為の情報宣伝活動	①	前年度検証と拡大、継続と新しい手立ての検討 プレートは 販路開拓を検討。数値目標をたてる		大宮まつり中止 文章とともにPR、キーホルダー配布	幼稚園や小学校でPRする	目標プレート売上500枚 キーホルダー200コ	50		
○			多様性のある取り組みを考案出来る主体の形成	②	埋もれた人材への働きかけと参加形態の検討 人材委員会との共催行事を計画	地域サポートができる人材委員会との共催行事を検討						
	○		子どもたち自身が自らの身を守るための取り組み	③	児童運営委員会またはキッズ等での試験的实施	放課後子ども教室で毎年9月に防災防犯教室を実施 子どもたちや子育て世代にもおおみや安心システムの加入を進める						
		○	新しい技術やサービスを活用した見守り活動	④	費用面での検討とプレゼンテーション					検討の持続		
(2) 子育て世代が気軽に集える場所・機会づくり（こー1・2）												
			子育て世代が日常的に交流し悩みの相談も出来る場所・機会づくり									
○			子育て相談会	①	「ひよこ組」は今後幼児の減少が著しく 現在民生児童委員が主体的、献身的に実施されている。 既存団体への移行を検討	感染対策に気をつけて 現状のニーズを把握する			委員会として実施の可否を決定する			
○			下校・降園後や長期休業中の校庭・園庭開放（親子で利用という前提での開放）	②	継続性のある取組とする提案と実施	他団体との 検討の持続						
○			交流が図れる親子イベント	③	活動の検証と継続 他団体との協議が必要。	検討の持続	検討の持続	検討の持続	検討の持続			
○			子育て世代の日常的な交流の場としてのフリースペース等の活用と周知	④	「ゆめのくに」フリースペースの実施		助成金が確保でき無料で実施	③と合わせて 充実させる		60		
(3) 子育てフェスタ「ピヨピヨらんど」のバージョンアップ（こー1）												
			子育て世代を孤立させないための取り組み									
	○		子育てフェスタ「ピヨピヨらんど」の意義・有用性の検討	①	規模縮小して 実施できるか 模索する	検討の持続	(2) ③④と合わせて、コロナ禍におけるつながりづくりの場として「おいでよ、ゆめのくに」を位置づけ充実させる (充実させる→人数をふやすではなく、回数をふやしていく)					
	○		孤立しがちな子育て世代をつかむイベントの企画検討	②	同上	検討の持続						
		○	保護者教育を目的とした子育て講演会やワークショップ	③	講演会またはワークショップ等の実施の検討 PTAとの共催も視野に入れる	検討の持続						
		○	子育て世代が主体となる取り組みの検討(企画立案に子育て世代を巻き込む)	④	主体の募集と企画立案	検討の持続					検討の持続	
(4) 制服・フォーマルウェアレンタル事業、不用品交換事業などの実施（こー1）												
			保護者ニーズに基づき経済的支援も含む不用品交換・収集及びレン									
○			不用品の提供・再利用等に関するニーズ調査	①	中学校標準服、小学生フォーマル服、幼稚園制服等の提供を呼びかける	中学校標準服の受付期間限定 5/14,5/15、9時～17時 5/16 9時～12時 三笠公民館内 自治協議会事務所にて受付	コロナのため保留中 実施準備整う クリーニングの必要	小学校保護者へフォーマル服提供のチラシ。幼稚園保護者へ制服提供 お願いのチラシ	中学校保護者へ 標準服提供 お願いのチラシ。 幼稚園・小学校保護者へ リユース服の販売提供	30		
	○		不用品交換事業	②	事業主体・形態、場所等の決定	昨年度の検証と実施に向けての検討 にぎわい市で実施可能かどうか検討。玩具も希望者あり検討	感染対策に気をつけて準備 一定の目途がたてば実施	実施に向けて検討				
	○		制服・フォーマルウェアレンタル事業	③	事業主体・形態、場所等の決定	検討の持続	検討の持続	検討の持続				

(子どもを産み育てたい地域、子どもたちが安心して勉強・運動のできる環境づくり)

【今西・金岡・福村・上垣内・大西校長・上野園長】

目標期間			事業計画への展開	計画	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				予算 @ = 千円
短期	中期	長期				第1四半期（4～6月）	第2四半期（7～9月）	第3四半期（10～12月）	第4四半期（1～3月）	
(5) 子ども食堂の展開、補習教室、塾、遊びの空間等の開設による居場所づくり（こー1・2）										
			支援を要する子どもたちへの学習支援と居場所、相談できる大人づくり							
○			ニーズ調査等による実態把握と実態に即した活動の計画と展開	①	受け入れ側との調整が課題	実施可能か検討の持続	地域飲食店と協働し、おもたせ昼ごはん、おもてなし食堂、大宮レストランを展開中 10月からはさらにデリバリーもとりいれ子ども食堂を充実する			
		○	孤食等に対応した子ども食堂	②	実態の把握に基づき、有用性と可能性を引き続き検討	社協による長期休み期間、ぶろぼの食堂の実施などへの協力				
○			既存の活動の検証による見直しまたは発展、充実、新規活動の計画	③	「おかえりスタディ教室」の検証、「学び舎プロジェクト」「学トピア」等の活動の検証と継続	検証と 継続の必要性	感染対策を行い、週2回に分けて おかえりスタディ教室を開催 10月からはぶろぼの食堂においても実施準備中			
	○		図書室・公民館・児童館等の施設を活用した居場所づくり	④	実施に向けた調整・主体の決定	検討の持続		NPO社協にて、昨年度より中学生の学習支援事業を公民館で実施中		
	○		子どもの学習支援（基礎的な学力の底上げ）	⑤	実施に向けた提案・人、団体等の募集	支援の必要性持続 大宮未来塾、専科では既に実施	学校と相談し、実施を検討する			
(6) 子どもたちへの社会経験の機会提供（こー2）										
			将来への展望や社会変化に対応できる力を子どもたちに							
○			スクール委員会と協議の上、体験型キャリア教育の有用性の検討	①	検討の持続	放課後子ども教室にて、キッズニア会議開催中 イベントごとに企画運営を話し合う				
	○		子どもだけのフリーマーケット（玩具・衣服等）	②	試験的实施 にぎわい市を活用できるか検討	大宮放課後子ども教室との共催で にぎわい市での試験的实施	にぎわい市場再開時に即検討			
		○	市内企業の協力の元で小学生時での職場体験	③	実施に向けた計画	検討の持続				
	○		親子でボランティア活動実施（ゴミ拾い・花苗植え等の環境整備）	④	試験的实施	他団体との共催に向けた取り組みを検討	幼稚園の草引き・小学校のピカピカデーの強化（9月）			
		○	保護者や地域の人が行う小学校での「お仕事」授業	⑤	実施に向けた人材の発掘	検討の持続				
(7) 歩行者天国や「大宮バル」の実施（こー1・2）										
			子育て世代の交流の場としてのイベントづくり							
		○	中道での歩行者天国	①	ニーズ等ある場合には実行主体の募集等	検討の持続				
	○		大宮バルや音楽フェス等の参加型イベント	②	ニーズ等ある場合には実行主体の募集等	検討の持続				
凡例＝短期；1～2年、中期；2～4年、長期；5年以降										140

6 人財委員会 ～担い手の人づくり～ （地域社会への関心と参加を拡げる取り組みを通じた担い手づくり）

【櫻井・岡田・森本・中村】

目標期間			事業計画への展開	計画 番号	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				予算 @ = 千円	
短期	中期	長期				第1四半期（4～6月）	第2四半期（7～9月）	第3四半期（10～12月）	第4四半期（1～3月）		
(1) 「地域づくりフォーラム」など、ALLおおみやミーティングの開催（みー4、こー4）											
		○	大宮サミットの開催	①	1年の各団体の実績成果から実施計画素案を作る						
		○	ブロックごとの拠点作り	②	おしゃれお出かけサロンの更なる発展拡充による 拠点作り→見直し、ヒアリングし直し				各団体ヒアリング		
○			自治会の総会等で「おおみや」の啓発をする	③	DVDの製作・完成後の啓発	作成・取材	作成・取材 DVD完成	各団体にてDVDの啓発 地域の公共施設に交渉	団体、地域に周知	40	
(2) 子育て世代の父親による「おやじの会」設立への啓蒙活動（こー3・4）											
○			公私立幼稚園、保育園の父親との話し合い	①	保育園への意向打診（以下左に同じ） 活動のテーマを作り運営する 裸の付き合いができる場づくりを考える	はぐくみ委員会と連携	同左	はぐくみ委員会と連携 若い世代に情報が届くシステム作り を検討（情報委員会に打診）	はぐくみ委員会と連携 若い世代に情報が届くシステム作り を検討（情報委員会に打診）	5	
(3) 若者単身世代へのアプローチ（ex婚活バル等出会いの場づくり）（すー5、こー4）											
		○	出会いの場作り	①	成人式行事に合流、発展 バルの開催を企画、検討 （大宮町6丁目商店街と協議）			若い世代に情報が届くシステム作り を検討（情報委員会に打診）	若い世代に情報が届くシステム作り を検討（情報委員会に打診） 成人式行事に参加	5	
○				②	大宮まつりで成人式 スタッフ確保・準備実行委員会の結成						
(4) 働きたいという人のニーズに応えられる「地域デビュー」事業やメニューの提供（こー4・5）											
		○	宅配便の預かり・配達事業	①	対象事業者へ意向打診	情報収集・分析	同左	同左	同左		
		○	公園清掃等の請負	②	市の動勢により対応	情報収集・分析	同左	同左	同左		
		○	市民だより等 市の事業の請負	③	自治協議会で事業受託	—	—	—	—		
○			近くで働きたい若いママへの情報提供	④	自治協議会のHPに地区内企業等の求人情報の受け皿を作る 企業、店舗等に活用、利用を働きかける	情報収集・分析	同左	若い世代に情報が届くシステム作り を検討（情報委員会に打診）	同左		
(5) 地域福祉等活動に必要な資格取得への支援（すー7、こー4）											
○			介護予防リーダーの養成	①	講師を招請し、研修会を開催	支え合い委員会と連携 おしゃれお出かけサロン開催 ※男性の参加を重点目標とする チラシ作成・配布(年間1万部) →一度検討しなおし	同左	同左	同左	30	
○			資格取得のための研修会開催	②	前年度の成果を踏まえ、ニーズに合った研修会を開催						
○			地域福祉活動の協力者の発掘養成	③	大規模マンションでの福祉協力者の発掘とリストアップ						
(6) サポーターズクラブ・ジェネレーションチームなど「受け皿」の充実（みー4、すー7、こー5）											
○			テーマを選択して「この指とまれ型」の人材募集	①	諸団体と協議してテーマづくり 社会経験や特技も生かして （学校の要望対応や大宮まつりの運営参加）	趣意書と申込書の作成	諸団体へ配布 登録者名簿管理	☆「Withおおみや」啓蒙活動 シニア層に向けては昔遊び、もしくは一本釣りで募集 若年層にはママさんサークル等に働きかけ チラシ作成	「Withおおみや」登録100名目標	60	
○			全体の登録管理 名称募集…「Withおおみや」	②	趣意書と申込書の作成、諸団体への配布情勢を分析してチームの創設準備 名簿の登録、管理						
		○	ジェネレーションチームの創設 （同窓会の開催事業と連携して）	③	ジェネレーションチームの創設 （大宮まつり等に若い世代の知恵を反映）	ジェネレーションチームメンバー によるスタッフ確保の呼びかけ	同左	同左	同左		
(7) 地域活動参加インセンティブ制度の設定（こー4・5）											
		○	大宮地区ポイント制度の創設	①	情報収集	—	—	—	—		
凡例＝短期；1～2年、中期；2～4年、長期；5年以降										予算合計	140

(地域活動への理解協力と新しい地域活動者の発掘に繋がる情報の共有と共感喚起)

【**鳶寄・池田・三好**】

凡例＝短期；1～2年、中期；2～4年、長期；5年以降

予算合計 (250) 220

8

企画・財務委員会

～安定した財源の確保～

（「お金を使う」から「お金を生み出す」への発想転換で、財源確保のための多種多様な手法を駆使する）

【吉岡・中室】

目標期間 短期 中期 長期			事業計画への展開	計画 番号	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				予算 @ = 千円	
						第1四半期（4～6月）	第2四半期（7～9月）	第3四半期（10～12月）	第4四半期（1～3月）		
(1) すべての活動の目標達成の数値化（費用対効果の視点）											
○			数値化されたメジャーメント（評価基準）の設定	①	計画において評価基準設定を必要要件とする。	・現行「活動評価シート」は継続する。	・現行「活動評価シート」は継続する。	・現行「活動評価シート」は継続する。	・評価基準、評価方法の具体化 ・理事会への報告と承認		
			人数、効果・効率比率、金額、回数、期日等	②	予算を伴う事業・活動については、評価シートの提出を義務付ける。						
				③	評価基準設定の基本設計を行い、2021年度より適用する。						・2021年度から本格化する
(2) NPO法人設立研究チームの設立											
	○		将来における必要性を見据え、NPO設立の研究を行う	①	社協先行事例の理事への報告ならびに基礎知識の広報			・NPO社協からの報告会を開催	・NPO法人化希望団体への講習会を検討		
				②	ワーキンググループの発足ならびに課題問題点の洗い出し						
(3) 業務受託（行政業務の有償肩代わり）、企業等協賛依頼、広報紙有料広告掲載											
	○		行政機関への働きかけ	①	しみん・県民だより等配布実施	・市民、県民だより等の業務受託配布実施ならびに併せて広報紙等配布による自治協のPR実施中			・効果、収支の検証と翌期以降の課題を理事会に提言する。		
				②	奈良市における業務委託事業の実態調査	・避難所運営の受託をはかる。	・公民館で受託開始	・業務委託事業については、市自治連合会で市と協議続行			
○			企業、商店等への働きかけ	③	自治協のPR、周知	・企業、商店等へのPR、勧誘文配布準備		・個別訪問による自治協加入勧誘活動			
					自治協議会への参加勧奨	・（情報委員会との協業により自治会未結成分譲マンションに対する加入勧誘を引き続き実施）		・（同左）			
(4) 計画策定委員会の常設（第2次自治活動計画の立案・内容調査など策定業務全般）											
○			第2次自治活動計画の立案・内容調査など策定業務全般	①	第2次自治活動計画の立案準備 立案方針、体制の決定 住民ニーズの把握方法の検討			・第2次計画策定委員会のメンバーを検討 ・委員会制度の利点と欠点をまとめる ・事務局を再考			
			計画策定委員会の発足					・策定委員を理事会に報告、審議 ・委員会制度の検討報告 ・事務局業務の検討報告			
			ワーキンググループ、PTの発足			・会長・副会長会議の制度化	・左記3項目の検討課題の最終報告を理事会に提出		・左記3項目の検討事項について理事会の決定を行う。		
○			主要四団体+募集メンバーによる重要事項事前検討	②	計画策定チームの設立						
(5) 実行推進プロジェクト（PDCAサイクルの実践） （常態化した監査活動によりPDCAサイクルを確実に行われるよう常に監査・指導できる体制を構築）											
○			所属団体が他団体に協力を呼びかける方法の再構築	①	人員配置の検討・協議会外からの依頼に対応する方法を検討				・手順素案作成 ・主要団体の合意を経て理事会に提案し、承認を得る。		
			一方的な人数割りを改善する	②	ワーキンググループまたは事務局で検討し理事会に提案						
○			数値化されたメジャーメント（評価基準）の設定	③	監査役+協議会外メンバーでの評価チームを発足	(1)項に同じ					
			（人数、効果・効率比率、金額、回数、期日等）		報告・評価のルールを策定						
(6) 地域自治関連イベントでの物品販売権の確立											
	○		自治協議会の活動基盤である資金の確保・安定化	①	地域内イベントのリサーチ				・地域内イベントでの店舗出店許可団体の検討		
			本当に必要なもの、良い物の紹介		見込まれる収益の試算、所属団体の資金確保のお手伝い						
(7) 店舗開設チーム ・ 市場調査（マーケティング）チーム・PRチーム等の設立											
	○		自治協議会の活動基盤である資金の確保・安定化	①	必要なチームの構成を検討し設立させる				・出店等プロデュース業務支援の予告	・出店等プロデュース業務支援の具体的内容検討	
			物品販売権の確立と連動して行う								
			住民生活において、本当に必要なもの、良い物の紹介				・Café運営事業の具体化検討	・Café運営事業の施行	・Café運営事業の継続化		
			地域がより発展するような活動・店舗の紹介・手助け								

9	ＪＲ奈良駅西まちづくり運営協議会 ～JR奈良駅西のにぎわい創出～										【吉岡・奥田】	
目標期間			事業計画への展開	計画 番号	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				見直し後予算 @ = 千円		
短期	中期	長期				第1 四半期（４～６月）	第2 四半期（７～９月）	第3 四半期（１０～１２月）	第4 四半期（１～３月）			
(1)はぐくみセンター、100年会館等とのJR駅西にぎわい創出事業の企画運営（すー１・３）												
○			運営協議会の定期開催と実効性ある企画検討協議	①	結果検証し継続協議、実施へ展開	4・6運協（中止）	8運協（中止）	10・12運協	2・3運協、検証	行政予算のため0		
	○		JR奈良駅西側の立地事業者へ組織拡大への働きかけ	②	JA及びホテル事業者へ打診、意向確認	JA及びホテル事業者との意向確認		規則改訂協議	拡大会議⇒運協	0		
(2)「にぎわい市場実行委員会」による市との連携と協働（すー５）												
○			にぎわい市場、レココンサート、大文字・若草山焼き、歴史教室等の実施	①	近隣事業者との連携策検討（1）②と連動	6にぎわい市場（中止）	8大文字送り火（中止）	11にぎわい市場（中止）	1山焼き見学会	(25) 各種コンサート年6回		
○			「奈良セミナー」など市職員との合同研修と事業の質的向上	②	継続実施と結果検証		8奈良セミナー（中止）		2にぎわい市場（拡大）	健康講座、歴史セミナー		
予算合計										(25)		
10	民生委員等推薦委員会 ～民生委員等の円滑な選出と人財発掘～										【吉岡・艸香・鳶嵯・坂井・（櫻井・大西校長）】	
目標期間			事業計画への展開	計画 番号	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				予算 @ = 千円		
短期	中期	長期				第1 四半期（４～６月）	第2 四半期（７～９月）	第3 四半期（１０～１２月）	第4 四半期（１～３月）			
(1) 民生委員・児童委員の候補者選出（すー７）												
○			改選期及び臨時の適格な候補者選考選出	①	要改選時の選考と委員会開催	推薦委員会の見直し				0		
(2) 奈良市、警察等関係先からの依頼による各種委員の選出（こー４・５）												
	○		担う人財の発掘調査と「人財委員会」との連携	①	発掘の努力継続 人財委員会との連携	年間継続実施	交通安全指導員選出	年間継続実施	年間継続実施	0		
予算合計										0		
11	人権教育推進委員会										【鳶嵯・今西】	
目標期間			事業計画への展開	計画 番号	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				予算 @ = 千円		
短期	中期	長期				第1 四半期（４～６月）	第2 四半期（７～９月）	第3 四半期（１０～１２月）	第4 四半期（１～３月）			
(1) 関係機関と連携した権利擁護の諸施策の推進（すー８）												
	○		情報委員会「住民の意識改革に資する情報発信」との連携	①	諸制度の調査と理解増進 情報委員会との連携							
○			人権問題の変化に伴う研修啓蒙活動の実施	①	行政及び情報委員会と連携による活動					11		
予算合計										11		
12	大宮まつり実行委員会（すー３・５、こー２・４）										【実行委員会方式】	
目標期間			事業計画への展開	計画 番号	【2020年度の取り組み】	2020年度 活動計画（活動スケジュール）				予算 @ = 千円		
短期	中期	長期				第1 四半期（４～６月）	第2 四半期（７～９月）	第3 四半期（１０～１２月）	第4 四半期（１～３月）			
(1) 地域の最大イベントの企画運営による地域一体感の演出												
(2) ふれあいの場づくり												
(3) 子どもたちへの体験学習の場の提供（自己有用感の醸成）												
○			目的意識の明確化による企画運営	①	31回以降の方針 運営体制確立	31回は次年度へ延期 協賛金拠出者に挨拶状	31回原案構想 候補の会場時期予約	31回計画着手	31回計画具体化	(5,000 協賛金・ 売上・繰入れ含む)		
凡例＝短期；1～2年、中期；２～4年、長期；5年以降										予算合計 ページ合計	11、人権除く 11、人権除く	0 0
2020.8.15.												

凡例＝短期；1～2年、中期；2～4年、長期；5年以降

2020.8.15.